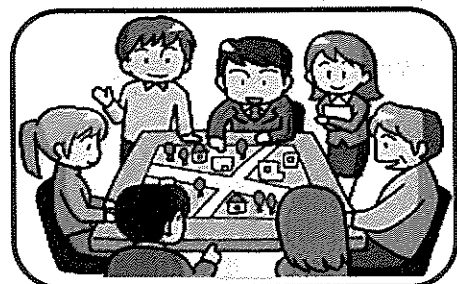


令和元年12月25日 発行

松阪市飯南町横野867番地  
飯南体育センター内第20号



# 柿野住民協議会たより

「みんなが、安全で安心して暮らせる町、柿野」

一年間皆様の応援ありがとうございました。

「新しい年」令和2年もどうぞよろしくお祈りします。

## 令和初めての棚田まつり 静かな夜、2000人が光の列に酔う!!

棚田まつり運営担当 宮本 武

10月26日(土) 第8回棚田まつりが盛大に開催されました。

今年は、10月半ばから東日本に大きな災害をもたらした台風や大雨等の影響もあり晴れ間が少なく、棚田はプール状態となり、開催が危ぶまれ、例年のステージや本部会場が設置出来ず「ショー」等を止む無く中止をした開催となりました。

当日は快晴、雨上りの心配された風もほとんど無風状態、新月により真っ暗!!

棚田まつりとして、最高の条件を満たしてくれました。

行燈とのコントラスト、くっきり浮かび上がったチコちゃんや文字アート、残った水溜りに映り出された逆さ灯籠そして、何より原点である静寂な棚田風景等改めて棚田の魅力を見て感じ得た一日となりました。

イベントの無い寂しさも感じられましたが、これまでの祭りの中でも最高のものであったと思えました。今回は事前の市の広報活動もありより多くの人たちが棚田を訪れ、祭りを楽しんで頂けた事と思います。

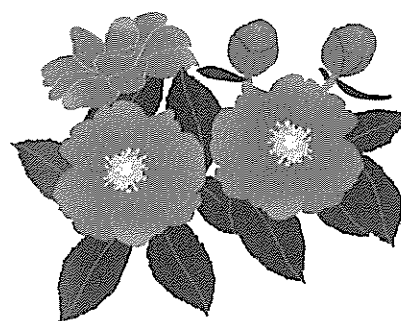
祭り運営等、大きなトラブルはなかった様ですが、混雑時にはシャトルバスを数十分待つ頂く等、ピーク時対応の難しさや運行の課題も残りました。又、今回からシャトルバス利用者には100円のご負担をお願いして祭り運営にご協力を頂きました。今年から新たに行燈を製作展示して頂いた飯南キッズいきいきクラブの皆様をはじめ、ご協力を頂いた地域の皆様竹灯籠、キャンド並べの飯南中学校、Tシャツ販売の飯南高校、焼きそば綿菓子販売の皇学館大学、出店して下さった屋台村の皆様すべての方に感謝し、地域密着の祭りとして来年も天候に恵まれて開催出来る事、そして来場される皆様に魅力ある「棚田」を実感して頂ける様にスタッフ一同願っています。



灯りで浮かび上がる「チコちゃん」



1 五平餅を焼く棚田女性部の皆さん



## 柿野住民協議会からの

山茶花

## お知らせ

### 地域の歴史文化学習会開催

### 伊勢本街道の歴史を学ぶ

日時 令和2年3月8日(日)午前9時  
集合場所 来迎寺駐車場  
内容 伊勢本街道(東・西の宮)  
講師 野呂修三さん  
その他 筆記用具をご持参下さい。  
※日が近づきましたら、回覧します。



↑ 昨年は、横野宝積寺の説明を聞く

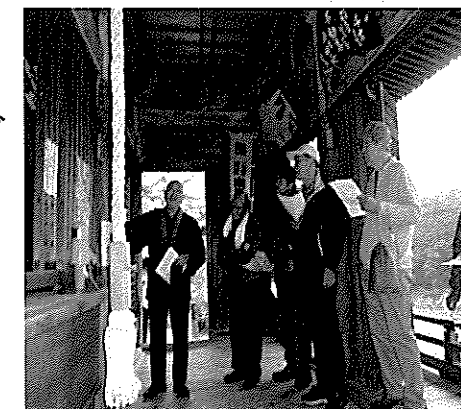
### 第8回 健康ウォーキング開催

いつも車で通る道でも、歩いて見ると景色が違う、お宝も発見するかも・・・

日時 令和2年3月22日(日) 午前8時30分  
集合場所 飯南産業文化センター  
行先 下仁柿・樋山方面  
約7k

※参加賞を用意しています。  
※温かい「豚汁」用意します。

※日が近づきましたら、回覧します。



↑ 昨年は、大石不動院の説明を聞く



### 毎月11日イオン系で買い物をすると黄色いレシートを受け取ります。

マックスバリュ大石店のレジ付近(写真)に柿野住民協議会のケースがあります。

黄色いレシートをこのケースにご投函下さい。半年毎に総額の1%が当協議会へ還元されます。今年4月～10月まで2800円の事務用品を受け取りました。皆様のご協力をお願いします。

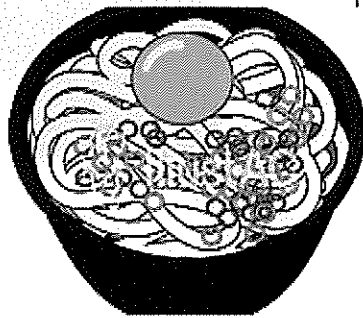
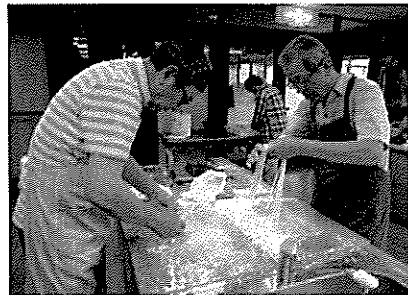
## 環境福祉部会

### No1

「普通のおじさんが教える初級者向けうどん打ち体験」を開催!!

7月28日(日)午後1時30分から飯南産業文化センターにおいて、うどん打ち体験を楽しみました。参加した会員は、男性10名、女性10名、講師は粥見山本斎他3名の方をお迎えしました。

「普通のおじさんが教える初級者向けうどん打ち体験」のレシピが配布され、山本さんの説明を聞きました。1人600グラムの中力粉を、270グラムの水でかき練りその「練粉」を薄く、伸ばす作業から始まりました。伸ばした後は、うどんが細く、長くなるように切断。日常何気なく、食べているうどんも、「なるほど、この様にできるのか・・・」と、実感しました。個々に出来上がったうどんは持ち帰りとなり、自宅にてゆでて、美味しく頂きました。



あやひかり		
小麦粉	○中力粉	600グラム
	○塩	24グラム
	○水	270グラム
小麦粉の種類		
薄力粉=天ぷら粉、菓子、カステラ等		
※水でこねても粘らない。		
中力粉=うどん、中華麺、フランスパン		
※粘りと弾力は弱い、伸びが良い。		
強力粉=高級食パン、ピザ、餃子の皮		
※粘ると弾力が強い。		
三重県小麦		
○ニシノカオリ⇒硬いパン		
○あやひかり⇒麺・・・軟らかく粘りがある。		
○タマイズミ⇒麺		

## 環境福祉部会

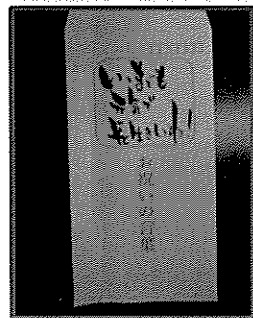
### No2

「敬老記念品」80歳以上の方、245名に配布!!

敬老事業として毎年度松阪市から「敬老交付金」を受け取っています。

今年度の交付金は、286,000円が配分されました。

過去には、産業文化センター大ホールにて、お笑いの吉本を招き満席の中、笑い、楽しんで頂いた事もありましたが、「すべての皆さまが平等に」との声が寄せられ、地域の老人会代表の方と相談の結果、今年も「敬老記念品」(海苔)と、「お祝いの言葉」を添えて、9月16日(日)深野地区は自治会長さん、横野地区は老人会代表の方に配付して頂きました。ここで、稲葉会長の「お祝いの言葉」をご紹介します。



新しい時代「令和」を迎え、初めての「敬老の日」を、ご健康で迎えられる事に心からおめでとうございます。

振り返れば、大正、昭和、平成そして、令和と長い人生の道を歩まれながら「地域への熱い思い」に対してとても嬉しく、感謝一杯の気持ちです。本当にありがとうございます。

柿野住民協議会では、「敬老の日」を記念にして、思い出に残るイベント開催を協議・検討しましたが、「全ての皆さまが平等」と言う意見が多く、今年も地域(横野・深野)の80歳以上の皆さま245名(内、ご夫婦40組)に、些細な敬老記念品を自治会長さん又、老人有志方のご協力によりお届けしました。ご査収下さい。

当協議会も早いもので設立9年目を迎え「みんなが安全で安心して暮らせる町、柿野」を目指し会員一丸になり取り組んでいます。今後も変わらぬご声援、ご指導をお願いします。長生きは人生最大の「徳を成す」と言われます。どうかご健康にはご留意され、尚一層のご長寿を心からお祈り申し上げ「お祝いの言葉」とします。

令和元年9月吉日

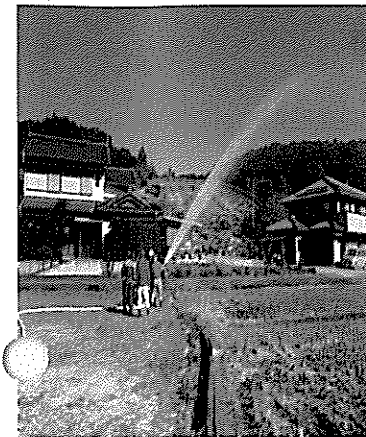
柿野住民協議会 会長 稲葉 文治

## 地域振興部会

「いざ火災に備え」消火栓の取扱い&放水訓練体験!!

柿野住民協議会副会長(横野区長) 竹岡 春俊

11月10日(日)午前9時、秋晴れの下、柿野住民協議会(横野地区)は、横野地区自治会連合会が主催した「いざ火災に備え」消火栓取扱い&放水訓練に参加しました。



訓練場所は横野三番組地内、横野区民、消防署、消防団員40名が参加。消防署、団員の指導の元、「いざ火災に備え」日頃取扱いの少ない消火栓から、いかに速やかに消防ホースを接続するか、更に手早くホースを伸長するかの指導を受け、火点に向かって放水・・・被害を最小限に抑える、つまり「初期消火」の大事さを学びました。

参加者から、「水圧が想像以上に強かった」「ホースの定期点検が必要」「事前に役割分担を決めておくことが重要」「消火栓の使い方ホースの持ち方等いざと言う時に備えた訓練が繰り返し必要」等の意見が出ました。これからも、住民の方々一人ひとりが万が一の時に初期消火が出来ように訓練を継続していきたいと思えます。

## 教育文化部会

年の瀬も押し迫った12月22日(日)午後1時30分、産業文化センターで、子ども(孫)連れの家族や会員合わせて25名が参加して、バルーンアートづくりを楽しみました。

講師先生は、昨年に続き、下仁柿の水本安雄さんをお迎えしました。初めに稲葉会長が「たくさんの皆さまがお集まりを頂きました。ありがとうございます。今回は来年の干支、ネズミを作って頂く様です。楽しんで下さい」と、あいさつ。テーブル6班に分かれ、用意されたふうせんを水本さんの説明により作業が始まりました。

なんでもない様に見える風船の結び方が、なかなか難しく隣の人を見ながら又、見本を見ながら、和気あいあいの中、進められました。途中、あちこちで、「バーン、バーン」と風船が割れる音、その度に笑い、残念がる声がかえっていました。

2時間余りで可愛い「ネズミ」が完成しました。

ばあさんと、参加した柿野小3年生小椋さなちゃん「楽しかった」「来年も参加したい」と嬉しく話してくれました。又、孫を連れて参加した、景井嘉子さんは、「孫の事なんかかぼっておれやんだ、自分の事が精一杯やったわ」と、笑顔で話されていました。

最後に事務局から、「素晴らしい来年の干支、ネズミが出来上がりましね。とうか良いお年をお迎え下さい」と、あいさつして解散しました。

